

平成27年度 嬉野市教育委員会 教育基本目標評価シート

嬉野市民輝きアクションプラン(社会教育)

7つのレインボープロジェクト		教育委員会における自己評価				
		評価	項目	項目ごと実績・成果・評価	課題・問題点	改善点
具体的 施策	(1)図書館サービス推進事業	A	<ul style="list-style-type: none"> 図書の貸し出し、レファレンスの充実を図り、利用者の利便性を図る 巡回や学校への図書の促進を図り、読書の普及に努める 読書活動推進計画の促進を図るため、地域や学校と連携を図り推進する ブックスタート事業の啓発を図り、幼児期からの読書習慣を養う 図書館だよりや市報等を活用して、情報発信の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 図書の貸出については、コーナーの設置等の館内環境整備の充実を図り、利用者が資料を手に取りやすいよう創意工夫し貸出の促進を行う。また、県内図書館との相互貸借による貸出の促進も行っている。レファレンスについても可能な限りの対応を行っている。 学校、幼稚園への図書の配本、巡回を行い子どもたちの読書普及に努めるとともに、遠隔地巡回を行うことにより、図書館利用の困難な方の図書の貸出を行うことにより利用者の利便性を図った。 未満児への読書推進を図るため、「赤ちゃん相談」時を利用し啓発活動を行った。図書館利用へもつながっている。 図書館だより、市報、ホットステーション等により情報発信を 	<ul style="list-style-type: none"> 学校への配本を含め今後は学校支援も図書館の課題となっているので、幼稚園・保育園への配本巡回及び遠隔地巡回を含めたところでの図書資料の充実を図っていく必要がある。 読書グループへの支援の充実が必要と感じる。 司書の勤務時間、日数に制限があるので目的達成が難しい現状がある。 月1回の館内整理の為に休館日が開館日となったので、職員全員での会議、打合せ等が出来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 司書の人員不足及び勤務条件の改善。 学校図書館との連絡会等、情報交換の場を設ける。
	(2)文化の振興と環境づくり推進事業	A	<ul style="list-style-type: none"> 文化振興基本計画を策定し、文化の現状と課題を明確にし、これからの文化の充実を図る指針とする。 社会文化会館(リパティ)の活用を推進すると共に各種イベント、講演会等の実施により、文化発信の拠点として文化振興を図る。 文化連盟との連携及び各文化サークルの活動を支援し、「文化祭」や「子ども文化祭」などみんなで創る、観る、参加する文化環境の振興を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化振興審議会を開催し、文化振興基本計画策定における意見等を集約のうえ素案を作成。12月にパブリックコメントを行い3月に完成の見込み。 手話落語会、リパフェス事業と称してジャズコンサートを実施し、今後クラシックコンサート、なんでも鑑定団、落語会を計画し文化発信の拠点として進めている。 塩田文化祭、嬉野文化祭を文化連盟主催により連携し実施した。 子ども文化祭は前回より出演増により12月に開催予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画に伴い各実施事業の計画を行う必要がある。 公演事業におけるスタッフ不足等の対応を図る必要がある。 懸案である文化祭の統合については、今後の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画を元に各事業の計画を図る。 スタッフ職員の増加、充実を図る。 文化祭のあり方の再検討を図る。
	(3)歴史的文化財の保存と活用事業	A	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の保護を図るため、文化財の巡視と地域との連携に努める 指定文化財の保存と活用を図るため、基礎資料の充実を努める 伝統芸能の保存と育成を図るため、補助金の充実に努める 埋蔵文化財と開発の調整を図るため、資料の充実に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 地区や県の文化財パトロール員からの報告をもとに確認調査に努めた。 指定文化財候補の発掘や情報の収集に努めた。 地元住民や保存会との連携を図った。 遺跡包蔵地の確認依頼があった時は速やかな対応を心掛けた。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理や修理に伴う予算が不足している。 指定文化財の保護活用の組織育成の必要がある。 伝統芸能を継承す人材の育成や指導者の確保が困難を要する。 開発に伴う問い合わせが急増しているため、基礎資料の充実が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の機関との交渉の出来る専門員の確保。 文化財を保存、活用していくための予算の確保。
	(4)生涯学習のまちづくり振興事業	A	<ul style="list-style-type: none"> 各種教室や講座の充実を図り、学びの場の提供に努める。 高齢者の学習意欲に応える「若返り大学・ことぶき大学」の充実に努める。 さまざまな「出前講座」に対応できる講師の確保に努める。 各種団体、サークル活動等の支援を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種生涯学習教室、サークル活動等を実施し、学びの場の提供を推進している。 高齢者教室の若返り大学、ことぶき大学を実施し高齢者の生涯学習の場の提供を行った。 出前講座を活用した各地区の講座を推進し、多様な講座に対応できるよう県アバンセ等との連携を強化している。 自治公民館改修の補助金交付により地域での活動拠点の支援を図り、講座、サークル活動へは公民館の活用を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規の講座等の開設対応が難しい。NPOによる講習の活用を考えたい。 高齢者教室のあり方を検討する課題が進まない。 出前講座の活用地区が限られてきておりPRが必要と思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> IT関係について、NPO団体等の講座で実施を図る。 高齢者教室のあり方を再検討していく。 出前講座のPRを行う。
	(5)次世代を担う青少年の育成推進事業	A	<ul style="list-style-type: none"> 青少年育成市民会議、子ども会連絡協議会との連携を図り、「夢づくり支援事業、青少年育成弁論大会、演劇鑑賞会、山登り、海の体験」などを実施し、子ども達の健全育成に努める。 放課後子ども教室の充実を図り、遊びや体験の場の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 青少年育成市民会議、子ども会連絡協議会と連携し、地引き網、球技大会県大会、手品公演会を実施し、スキー教室、弁論大会実施を予定している。 放課後子ども教室では、塩田元気っ子クラブ・サタデー教室・キッズ嬉野教室にて子どもたちの放課後及び土曜休日の安全な居場所づくりと体験活動の充実を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 青少年育成市民会議、子ども会連絡協議会の自主運営はできない状況にある。 放課後子ども教室の拡充を国が打ち出しているが今後の対応が課題である。 また、嬉野教室の充実を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務体制について引き続き検討する。 放課後子ども教室の拡充について検討を進める。
	(6)コミュニティスポーツの振興事業	A	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進員と連携し、ミニバレーボール大会やニュースポーツ教室、スポーツ講座等を開催し、健康体力づくりの向上と親睦を図る。 心肺蘇生講習会の開催、体力測定を実施し、緊急時への対応知識の向上及び自らの体力を知ることによる自己管理の意識の向上を図る。 夢スポーツ支援事業を実施し、実技講座の実施やスポーツの体験の場を設け、スポーツの知識、技術の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進委員と連携し、塩田、嬉野、吉田地区でのミニバレーボール大会の実施、市民へのニュースポーツ教室、スポレクうれしのを開催した。 心肺蘇生講習会、市民体力測定等を行い健康と体力づくりと自己管理意識の向上を図った。 少年柔道大会、ベテランズ国際柔道大会等を開催し、ドリームベースボールによる野球教室を行った。また夢スポーツ事業による体験講座を予定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 審判、運営等のスポーツ推進委員への依頼が増加している。 講習会等への参加者募集が課題である。 事業対応のスタッフ職員が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修の場を広げスポーツ推進委員の活動意義とやりがいの向上を図る。 広報の充実を図る。 職員の増を求めると共に実施にあたっての事業内容の検討を行う。
	(7)スポーツ団体との連携推進事業	A	<ul style="list-style-type: none"> 市体育協会と連携協力し、各種スポーツ大会の実施と普及に努める。 のほほんスポーツクラブの普及に努め、コミュニティスポーツの向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 各少年スポーツクラブ等への助成支援を実施。体育協会との連携にてリレーマラソン大会を実施、1月にロードレース大会を予定している。 のほほんスポーツクラブにおいては、軽スポーツ、テニス、ヨガ教室等を実施し市民のコミュニティスポーツの向上を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育協会の体制強化が課題である。 連携を図るための体制づくりが課題である。 のほほんスポーツクラブを市民に浸透させるPRが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育協会との連携、調整を密に行う。 スポーツ振興体制の強化を図る。 募集におけるPRを更に図る。

評価委員からの指摘事項・意見	評価結果(段階)



指摘を受けての改善点

評価4段階	A	達成(80%以上)
	B	ほぼ達成(51~79%)
	C	やや不十分(50~21%)
	D	不十分(20%以下)